



国立研究開発法人

水産総合研究センター-開発調査センター-
JAMARC, Fisheries Research Agency

平成27年度海洋水産資源開発事業成果報告会プログラム

～漁業資源の有効活用と操業の効率化に向けた取り組み～

日時：平成28年 1月28日（木） 14:00～17:20

場所：東京海洋大学 白鷹館2階多目的スペース

住所：東京都港区港南4-5-7

（進行：開発調査センター所長 福田安男）

- | | | |
|-----------------------------------------|------------------------------|-------------|
| 1 開催あいさつ | 水産総合研究センター理事長 宮原 正典 | 14:00-14:05 |
| 2 成果報告等 | | |
| (1) 開発調査センターの概要について | 開発調査センター副所長 小倉 未基 | 14:05-14:15 |
| (2) 成果報告 | | |
| 1) 遠洋かつおまぐろ漁船漁業効率化のために開発調査中の技術について | | 14:15-14:45 |
| フィッシュポンプによる活餌積み込み | | |
| 音響装置による食害削減に向けた取り組み等 | | |
| 浮魚類開発調査グループ 伏島 一平 | | |
| 2) 小型底びき網漁業をモデルとした生産から流通販売までの改善に向けた取り組み | | 14:45-15:55 |
| (茨城県日立市久慈浜地区) | | |
| ・操業の効率化に向けた具体的な取り組み | | |
| 資源管理開発調査グループ 小河 道生, 茨城県水産試験場 益子 剛 | | |
| ・流通調査と品質、衛生管理への取り組み及び漁獲物品質評価試験の概要 | | |
| 海洋水産システム協会 岡野 利之, 茨城県水産試験場 櫻井 正晃 | | |
| — 休憩 — | | 15:55-16:05 |
| 3) LED でいかを釣る | | 16:05-16:35 |
| 底魚・頭足類開発調査グループ 山下 秀幸 | | |
| 4) かけまわし漁法の省人・省力化に向けた研究開発 | | 16:35-16:55 |
| -新方式を採用した揚網システムの検討- | | |
| 底魚・頭足類開発調査グループ 貞安 一廣 | | |
| 3 全体質疑 | | 16:55-17:15 |
| 4 挨拶 | 水産総合研究センター理事（評価・開発調査担当） 武井 篤 | 17:15-17:20 |

<17:30 より生協食堂にて会費 3,000円で懇親会を行います。>